



Johnsonville Sausageが UCS上でSAP HANAを活用し、 市場シェアを拡大

1945年、ラルフとアリスのステイヤー夫妻は、ウィスコンシン州ジョンソンヴィルに精肉店を創業しました。一家に代々伝わるレシピが人気を博し、Johnsonville Sausageは米国一のソーセージブランドに成長。実際、米国で販売されるブラッツ（ソーセージ）の4分の3がJohnsonvilleの商品という状況です。

課題

何もせずにじっとしているだけでは、トップの座は守れません。常に先を見据えているJohnsonvilleは、SAP Business WarehouseとSAP BusinessObjectsを使用して、収集されたデータをリアルタイムで理解し、新たなトレンドを予測しています。

市場シェアを守るため、同社では、販促活動に関する意思決定を、より適切な情報を基に、より迅速に行うため、食料品店の販売時点管理（PoS）システムでスキャンされたデータを有効活用したいと考えていました。

顧客

Johnsonville Sausage, LLC

業界

食品加工

場所

米国ウィスコンシン州シェボイガン フォールズ

従業員数

1,400

テクノロジーおよびアプリケーション パートナー

SAP

課題

- ・ より迅速で、より状況に即したビジネス上の意思決定
- ・ PoS スキャンデータによる販促活動の最適化
- ・ IT サポート業務の軽減

ソリューション

- ・ シスコ ユニファイド コンピューティング システム (Cisco UCS®) サーバの導入で、SAP HANA および その他 SAP アプリケーションの信頼性を向上
- ・ 販促活動の有効性を可視化
- ・ 使い慣れた Cisco UCS Manager による環境の管理

結果

- ・ ROI が 2 桁増加の見込み
- ・ 情報に基づく意思決定を迅速に行う能力が向上
- ・ 管理時間が約 30% 短縮

「過去を振り返ったり、標準的なレポーティングを使用したりするのではなく、より状況に即した意思決定を可能にする、予測的分析を活用することを目指しています」

— ローリ・プレート氏、Johnsonville エンタープライズ ソリューション担当ディレクター

ソリューション

Johnsonvilleは、Microsoft SQL ServerベースのデータウェアハウスをSAP HANA (リアルタイムのインメモリ型ビジネス インテリジェンス ソリューション) に移行し、店舗データをリアルタイムで把握するためのツールとして、SAP Demand Signal Management (DSiM) を使い始めました。

また、SAP Business Warehouseおよび今後のプランニングや統合に対応できる、スケーラブルなプラットフォームも必要としていました。Johnsonvilleでは、Cisco UCSデータセンター ソリューションで標準化し、SAPの各種アプリケーションを運用していたため、新しいシステムを導入する際もそのやり方を踏襲したいと考えていました。Cisco UCS とEMC ストレージでスケールアウトしたSAP HANA 向けソリューションと、EMC VNXシリーズのユニファイドストレージを組み込んだCisco UCSプラットフォームを組み合わせることで、手間をかけずに高性能なインフラストラクチャを構築できます。

Johnsonville は、SAP HANA をCisco UCS B440 M2 ハイパフォーマンス ブレード サーバ上に展開。Cisco UCS 5108 ブレード サーバ シャーシを2台設置し、1台は本番運用に、もう1台はテストおよび開発用に使用しています。採用ソリューションには、Cisco UCS 5108 ブレード サーバ シャーシ、Cisco UCS 6248UP 48ポート ファブリック インターコネクトなどが含まれます。また、Cisco UCS Managerが、すべてのコンポーネントの統合管理を可能にしています。

「ハードウェアと管理を標準化することで、管理にかかる時間が、

約 **30%**
も短縮されました」

— ダン・アレンズワース氏、Johnsonville Sausageテクニカル サービス担当マネージャ



結果

SAP HANAをシスコのデータセンター ソリューションで稼働させることで、Johnsonville はリアルタイムでデータを消費し、ビジネスウェアハウジングを実現しています。食料品店でスキャンされたデータをリアルタイムで分析することができるため、Johnsonville では、キャンペーン、地域、店舗ごとの販促活動の効果を明確に把握できるようになりました。

「当社は長年にわたり飛躍的な成長を続けてきました。Cisco UCS上でSAPのソリューションを運用すれば、今後もその勢いを持続することができるでしょう」 Johnsonvilleのエンタープライズソリューション担当ディレクターであるローリ・プレート氏は語ります。



「最終的には、会社全体の効率アップにつながるでしょう」プレート氏は続けます。「出荷した商品の販促がうまくいったかどうかを単に比較するという、事後対応的なやり方ではなく、今後は、スキャンデータをリアルタイムで活用し、その場でキャンペーンを調整することが可能になります。販促活動を最適化し、宣伝コストの費用対効果と効率性を最大限に高められるようになるでしょう」

— ローリ・プレート氏、Johnsonvilleエンタープライズ ソリューション担当ディレクター

テクノロジー

データセンター ソリューション

- Cisco UCS
- Cisco UCS B440 M2 高性能ブレード サーバ
- Cisco UCS 5108 ブレード サーバ シャーシ

ルーティングおよびスイッチング

- Cisco Nexus® 7000 シリーズ スイッチ

アプリケーション

- SAP HANA
- SAP Business Warehouse
- SAP BusinessObjects Suite
- SAP DSIM
- VMware 仮想化ソリューション

ネットワーク管理

- Cisco UCS Manager

サービス

- シスコ インストール サービス

ストレージ

- EMC VNX5300

ファブリック インターコネクト

- Cisco UCS 6248UP 48ポート ファブリック インターコネクト
- Cisco Nexus 2224TP GE ファブリック エクステンダ



Intel® Xeon®
プロセッサ搭載
Cisco UCS®





シスコは本文を現状のまま提供し、明示的または黙示的な商品性の保証、特定目的への適合性の保証を含む、明示または黙示の一切の保証もいたしません。一部の法域では、明示または黙示保証の責任放棄を許可していないことがあり、その場合には本責任放棄声明は適用されません。

アメリカ本社
Cisco Systems, Inc.
カリフォルニア州サンノゼ

アジア太平洋本部
Cisco Systems (USA) Pte.Ltd.
シンガポール

ヨーロッパ本部
Cisco Systems International BV
オランダ、アムステルダム

シスコは世界各国 200 カ所以上にオフィスを開設しています。各オフィスの住所、電話番号、FAX 番号は当社の Web サイト (www.cisco.com/go/offices) をご覧ください。

© 2015 Cisco and/or its affiliates. All rights reserved. Cisco および Cisco ロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。シスコの商標の一覧は、www.cisco.com/go/trademarks でご確認ください。掲載されている第三者の商標はそれぞれの権利者の財産です。「パートナー」または「partner」という用語の使用はシスコと他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1110R)

© 2015 Cisco and/or its affiliates. All rights reserved. この文書はシスコの公開情報です。
Intel、Intel ロゴ、Xeon、Xeon Inside は米国およびその他の国の Intel Corporation の商標または登録商標です。